

G2ニュージーランドT

<最終見解>

スプリント指向のスピード問われるレース。
父か母父Pサンデー系が好相性。

本命はエコロブルーム。

父はPサンデー系のなかでも過去 10 年で
馬券対象馬を最も出しているダイワメジャー。
母の血統もスピード型。

ボンドガールも同様に母父が米国型のダイワメジャー産駒。

G2阪神牝馬S

<最終見解>

中距離指向の馬が人気を裏切ることが多いレース。
今年は推定上位人気の 1、6、11 が危険。

本命はモズゴールドバレル。

父は当コースの G1 勝ち馬も出しているスマートストライクの系統。

先週の大坂杯は、父と母父がミスプロ系とデインヒル系の組み合わせが 1、2 着だったように、今の馬場も向いています。

先行馬の少ないレースで出走馬唯一のテンパターン 30 以内に該当するのも有利。

相手もドゥアイズ、ウンブライル。

どちらも父がミスプロ系で母系にスプリント適性高いノーザンダンサー系を持つ馬。